

市長	比田勝尚喜君
副市長	俵 輝孝君
教育長	中島 清志君
総務部長	木寺 裕也君
総務課長（選挙管理委員会事務局書記長）	一宮 努君
しまづくり推進部長	伊賀 敏治君
観光交流商工部長	阿比留忠明君
市民生活部長	村井 英哉君
福祉部長	田中 光幸君
保健部長	桐谷 和孝君
農林水産部長	黒岩 慶有君
建設部長	内山 歩君
水道局長	舍利倉政司君
教育部長	扇 博祝君
中対馬振興部長	原田 武茂君
上対馬振興部長	原田 勝彦君
美津島行政サービスセンター所長	藤田 浩徳君
峰行政サービスセンター所長	居村 雅昭君
上県行政サービスセンター所長	田村 竜一君
消防長	主藤 庄司君
会計管理者	勝見 一成君
監査委員事務局長	志賀 慶二君
農業委員会事務局長	主藤 公康君

午前10時00分開議

○議長（初村 久藏君） おはようございます。

報告します。

波田政和君及び脇本啓喜君から、欠席の届出がっております。

ただいまから、議事日程第3号により本日の会議を開きます。

日程第1. 市政一般質問

○議長（初村 久藏君） 日程第1、市政一般質問を行います。

本日の登壇は、4人を予定しております。

それでは、届出順に発言を許します。7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） おはようございます。入江有紀と申します。

それでは、一般質問に入ります前に、女性の方からのお手紙が来まして、ぜひ議会で代弁してくださいということです、実名入りで来ておりますので、実名入りで発表させていただきます。

私は糸瀬洋子と申します。私たちは、議会で何も言うことができませんので、入江議員に代弁をお願いいたしました。

実は、2月23日、私どもの下にこの文書が来ております。発信元は東京都府中市からでした。私たち市民は本当に驚いております。次の文書です。

対馬市に右翼が入り、街宣車が市役所前で比田勝市長に対して、元職員の6,000万円横領のうち、3,000万円は市長に渡したと職員が言っていると叫んだ。これがうそなら、比田勝、玄関まで出てこい。比田勝市長は出てくることがなかったそうだ。職員に横領の罪を着せ、市長選に立候補すると表明した比田勝市長を許されるだろうか。余りにもずうずうしい。立候補をやめて、3,000万円の横領を市民に対して説明責任を果たすべきだ。市民の皆様、こういう人が市長選挙に立候補する資格があると思いますか。比田勝市長が福岡ボートに職員と同行している写真を持っている。刑事告発のおそれがある。

以上の文書でした。

今から4年間、市政を預ける市長にこんな疑惑があつては、私たちは安心して比田勝市長に市政を預けることができなくなります。不安に思っております。市民の不安を解消するために、全島民に分かるよう記者会見をして、この疑惑を晴らしてほしいと思います。このことに対して、司法機関も動いていると聞き、大変なことになるのではと私だけではなく、全島民が心配していると思いますので、どうかよろしく願いいたします。糸瀬洋子。

それでは、通告をしておりました一般質問に入らせていただきます。比田勝市政の今後についてお尋ねします。

- 1、職員の人材育成と市民サービスについて（子ども食堂に対する職員の対応）。
 - 2、職員の仕事の悩み相談と今後のストレス対策について。
 - 3番目に、移動販売車に対する市政の今後の対応は。
- よろしく願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） おはようございます。入江議員の質問にお答えいたします。

まず、冒頭、通告外のことがございましたけども、私もこの市長選挙期間中あのような怪文書

が出回ったことは承知しております。全く根拠がない怪文書でありますし、ましてや私が職員が横領した6,000万円のうちの3,000万円をとったようなそのような内容でございましたし、まして私がその職員と福岡ボートに行った写真を持っているというような、全くでたらめなことが記載されてありました。

私は、確かに20代の頃に1回ボートに行ったことは覚えておりますけれども、ここ何十年ボート競技はしたことがありませんので、どのようにして賭けるのかも分かりません。ましてや、この事件につきましては、警察のほうの捜査も終了もしておりまして、裁判等でも解決をしているところでございます。まずその横領した職員を冒涇することにもなりますし、ましてや長崎県警の捜査へも冒涇することになるのではないかということを私は思います。ましてや、いかにも先ほどの質問の中で、私がその事件に関与しているような発言でございましたけれども、全くもって心外でございます。そのような事実はございませんので、市民の皆様、そして議員の皆様には、この場において申し上げたいと思います。

それでは、通告のあった質問についてお答えをいたします。

初めに、職員の人材育成と市民サービスについてでございますけれども、事情がありまして、1人で食事をせざるを得ない子どものために、食事を提供する場として、また、近年は親や地域の人々など誰でも利用できる食堂が増えており、地域交流や子どもの見守りの場など、地域に開かれたコミュニティの場として子ども食堂が運営されているものと認識しております。

対馬市における子ども食堂については、入江議員を中心とする有志の皆様がボランティアで活動していただいていることに、心から敬意を表します。

その中で、利用者の一部の方から市役所へ問合せをいただいた際に、不適切な回答があったとありますが、関係する部署に確認をとったところ、その事実は確認できませんでした。今後も、このような件については問合せの内容、趣旨を十分に確認した上で、適切な回答をするよう職員を指導してまいります。

次に、職員の仕事の悩み相談と今後のストレス対策についてでございますが、現在、市職員が担う業務は時代の変化とともに多種多様化しており、各職員に対する負担が増大、複雑化している状況は否めないところでございます。

その業務に対応すべく、組織の見直しや人員配置を行っておりますが、なかなか100%満足できるような組織体制にはできておりません。日々の業務にはプロジェクトを必要とし、長い時間を要するもの、市民と直接窓口での対応により、その場で完結する業務など、それぞれの部局で内容は違えども、市民の皆様が安心して生活いただけるよう業務に取り組んでおり、担当する課内で職位に応じた業務を割り当てております。

職員の中には、業務やその他を要因とする悩みを抱える職員が少なからずいることは把握して

おり、まずは所属部署において丁寧な対応をするよう指導しているところでございます。

人事評価制度においても、個人面談を実施する機会を複数回設けており、その際にも悩み事がないか確認するよう、所属長には周知をしております。

時間外勤務についても、月100時間超え、2か月以上平均で80時間超えの長時間の時間外勤務を余儀なくされる職員には、所属長から業務内容の内部調整の報告を人事課に提出させた上で、産業医の面談を受けるよう措置しているところでございます。

その他、対馬市ストレスチェック制度実施規程に基づき、年1回のストレスチェックを業者に委託して実施しております。このストレスチェックで、高ストレス者と判断された職員について、希望者には産業医の面談を実施し、必要なアドバイスをいただいているところでございます。

また、書面による職員意向調査を実施し、異動に関する要望や個人的・組織的な悩みを打ち明ける機会も設けております。

今後も、現在実施しております各種取組をより効果的なものとし、悩みの早期発見に向け、個人面談における確実な悩み相談の実施や、ストレスチェックの回答率の向上に向けた指導をしていきたいと考えております。

最後に、移動販売車に対する市政の今後の対応についてでございますが、本市では令和3年度より移動販売車による買物支援を実証事業として実施しております。企業の所有する移動販売車が美津島町の尾崎地区に毎週土曜日、賀谷地区に第1・第3火曜日、弁当などの食料品や日用品等を販売しています。1回平均で25人程度の利用者があり、とても好評をいただいております。また、令和3年3月から上対馬町、上県町で地元企業が買物支援サービスを開始し、現在は峰町の一部まで範囲を拡大して移動販売を実施しております。そのほか厳原町、美津島町、豊玉町、峰町まで広範囲で他の地元企業が宅配サービスを行っており、いずれも買物支援に大きく貢献していただいていることを承知しております。

尾崎地区、賀谷地区の2か所で実施している実証事業ですが、現在3か所目の検討を行っているところでございます。地区によりましては地元商店もございますので、地区住民等の合意を得ながら調整をしているところでございます。徐々に地域を広げていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） まず、1つ目の職員の人材育成と市民サービスについてお伺いします。

日頃から市職員の皆様には、公共サービスの向上並びに市政発展のために頑張っておられることと敬意を表します。

さて、皆様も御存じかと思いますが、2025年問題は公務員のみならず、企業においても労

働力不足、医療人材不足、社会保障の増大など、人口構造の変化により様々な問題が発生すると懸念されています。団塊の世代が75歳以上となり、超高齢化社会が目前に迫っております。

そこで、人材育成について質問します。今後、人材確保や労働力不足などにより市職員の仕事量の負担が増加することは明白であります。対馬市の将来を見据えた採用計画となっているのか、また採用後の人材育成方針、人材教育について伺います。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 将来、2025年問題につきましては、大変、市といたしましても今後の対応が必要になってくるのではないかというふうには考えております。

先ほどの答弁の中でも申し上げましたように、まして今、多種多様化した、複雑化してきた業務でございますので、職員におきましても大変苦勞をしているところでございますし、このことについては簡単に職員を増員するというわけにもまいらないところでございますので、今後アウトソーシングとか、そういったところともいろいろ考えながら、その対応を図ってまいりたいと思っております。

詳細については、担当部長のほうから答えます。

○議長（初村 久藏君） 総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） 職員計画についてお答えいたします。

市のほうで定員管理計画を設けておりまして、令和8年3月31日までの計画を設けております。それに沿って職員採用を計画しております。

職員採用につきましても、従来の方式と少し変わってはきますけど、社会人枠であったりとか、大卒の行政職であったりとか、その辺を年齢等も上げていながら採用していくような計画を立てております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 人手不足解消や、人でできない業務以外ではDXを推進し、RPA化を人手不足解消に導入する必要ではないかと考えますが、市の考え方はいかがでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 対馬市といたしましても、しまづくり推進部内にデジタル推進課のほうを増設いたしまして、この中で、今対馬市のDXについて議論を進めているところでございます。

そしてまた、支援者の方も今いろいろと募っておりまして、そのような方からの御指導等をいただきながら、今後の電算化と申しますか、DX化をさらに進めていきたいと思っております。

今議員おっしゃられるように、なかなか今後は職員だけの対応は難しくなってくるというこ

とで、AIをどのように活用していくのかということまで含めたところでの議論が進められているところでございますので、このことについては御理解をお願いしたいと思います。担当部長のほうから補足させます。

○議長（初村 久藏君） しまづくり推進部長、伊賀敏治君。

○しまづくり推進部長（伊賀 敏治君） 対馬市のDX化につきましては、先ほど対馬市わくわくデジタル変革宣言といったものも宣言しておりますので、対馬市全体業務の中で職員でないといけないもの、職員じゃなくてもできるもの、そういったものも整理しながら、外部発注できるものは外部にも発注していくというようなことも検討しながら、全体的な見直しを含めて今検討しているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 人手不足解消のために、このRPA化をということは考えておりませんか。

○議長（初村 久藏君） しまづくり推進部長、伊賀敏治君。

○しまづくり推進部長（伊賀 敏治君） 当然、その項目も検討材料に入っておりますし、市長が申しましたAIとか、そういったものを総合的に検討はしているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） それでは次に、市民サービスについてですが、対馬市民は行政関係手続があるときは、対馬市役所関係部局に行って市職員に相對するわけですけど、対応が非常に悪いと感じます。おもてなしの心が無い。対馬市に住所がある市民は、行政機関を選択できないのですから、もっと市民対応を親切に、丁寧に対応してもらいたいと思っております。

そこでお尋ねします。市民と相對する職員の対応、スキル向上のための研修を受講させてはどうかと思いますが、市長のお考えをお聞かせください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 職員のスキル向上のための研修ということについては、これは既に実施をしているところでございます。詳細については担当部長のほうから答えます。

○議長（初村 久藏君） 総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） 職員の研修の計画なんですけど、毎年研修計画を立てまして研修を実施しております。新規採用職員から係長、課長補佐研修、また管理職の研修、その辺も含めてやっております。

また、最近ちょっといろいろあっているんですけど、ハラスメント研修であつたりとかコンプライアンス研修、この辺については全員が受講できるような体制をとっております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） その次に、子ども食堂の件なんですけど、子ども食堂のことを市本庁の職員だったんですけど、お弁当が4個ぐらい足りなくて、文句を言いたいために本庁にかけたらしいんですけど、本庁の職員が言うのには、あの子ども食堂は市の委託で補助金を出しておりますので、遠慮なく弁当はもらってくださいということを言っているんですよ。私たち、子ども食堂は市からの補助金ももらっておりませんし、一円のお金も。皆さんで集まったボランティアの方で、税金も市税が6万円、県税が2万2,000円毎年払って運営している子ども食堂で、市からの補助金は一円ももらっておりませんので、この場で市民の皆様知ってもらいたいので、市長の公約で、子どもは島の宝と言っておりますけど、そういうことになっておりませんので、全然。一円の補助ももらっていないし、子どもに対する何ももらったことはありませんので、そのことを市民の皆様が理解していただきたくて発言しました。

以上です。何ももらっておりません。

2番目に、市職員の仕事悩み相談と市職員ストレス対策について伺います。

広報の令和5年11月号に、市職員の人事行政などの運営状況が公表されていまして。その資料の一部に、心身の故障で3名が休職されています。市職員のメンタルチェックは実施されていると思いますが、そのメンタルチェックで問題ありの結果が出た職員の対策はどうなっているのでしょうか、お尋ねします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） ストレスチェックというのを職員全員に実施しまして、その中で産業医の面談が必要だという結果が出れば、産業医のほうに面談をしてもらっております。

まず、令和4年度におきましては、産業医との面談をした職員が23名になっておりますが、特に令和4年度におきましては博物館の開館準備、そして選挙事務がかなり増えたということ、そして振興実施計画等の事務が集中したというようなことで、職員がかなりストレスがたまっていたものというふうに理解をしております。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） このメンタルチェックをですね、きちんとしていただきたいと思います。

そして、対馬市には衛生委員会が設置されていると思いますが、どのようなメンバーで構成されていますか。委員会の議事録は作成されていますか、お答えください。

○議長（初村 久藏君） 総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） 衛生委員会についてお答えいたします。

衛生委員会につきましては、職員、労働組合、あと医師とかも入ってきまして、あと保健師、

その辺りを含めて構成しております、人数的にはですね。もちろん衛生委員会で庁舎の点検であったりとか職場環境、その辺の点検も行っておりますし、このストレスチェック、その辺の状況の中で協議をするようになっております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 議事録は作成されているんですか。

○議長（初村 久藏君） 総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） すみません、その辺りちょっと、多分作成はしていないと思います。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 議事録をきちんと作成するべきだと思います。お願いいたします。

それともう一つ、市役所は行政機関でありますので、労働安全衛生法を遵守していると思いますが、当然、衛生管理者が選任されていると思いますが、衛生管理者の代表的な業務内容として例を挙げますと、1番目に健康に異常がある市職員の発見、2番目に職場環境の衛生チェック、3番目に衛生教育の健康相談、4番目に週に1回の職場の巡視などのほかに多くにわたりますが、衛生管理者が業務できる体制となっているのか、市に衛生管理者を置いているのかお尋ねいたします。

○議長（初村 久藏君） 総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） 衛生管理者の件なんですけど、今言われたようにストレス関係であったりとか職場環境であったりとか、衛生委員会の中で対応はさせてもらっております。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） では、衛生管理者は置いてないということですか。

○議長（初村 久藏君） 総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） すみません、衛生管理者は置くことになっていますので、ちょっと今自分のほうで把握していませんので、それは確認させていただきたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 衛生管理者を置かずにやってあるんですか。いないんですか、衛生管理者は、対馬市には。びっくりしますよこういうことを聞いたら。衛生管理者を置くべきじゃないですか、対馬市にちゃんと。どういう体制になっているんですかこれは。衛生管理者がおって、これだけの全部チェックをして、一応市職員のチェックをするはずですけど、その衛生管理者を市に置いてないということ自体がおかしいんじゃないですか。何で置かないんですか。だからいろんな問題が起こるわけでしょう、後で言いますけど。どういうことなんですか市長、お答えください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 衛生管理者の件につきましては私も承知しておりませんので、もう少し今後調べさせていただきたいというふうに思います。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） さっき読み上げました4項目を衛生管理者がちゃんとチェックすることになっているんですよ。それで、衛生管理者を、対馬市ともあろうものが、何で衛生管理者を置かないまま、このままの状態にしているんですか。置いてくださいよ、きちっと。職員のためにそれは置くべきだと思いますよ、ちゃんと。お答えください。置くか置かないかを。

○議長（初村 久藏君） 総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） 衛生管理者の件については再度確認をしますとともに、もし誰も置いていないようであれば、はっきり置くように、法的に決まっていることであれば、そういうふうに対応していきたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 法的には置くように決まっているんですよ。だから置いてくださいね、ちゃんと。

次に行きます。最後に、職員の業務では職員が持ち合わせている能力以上の業務を担当することがあると思いますが、現代社会はストレス社会と言われておりますが、職員の悩みやストレスを抱える職員の相談体制はきちんとできているのでしょうか、お尋ねします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） そのことにつきましては、先ほど答弁の中でも申し上げたとおりでございます。ストレスチェックの結果では、約60名から70名程度が高ストレス者ということになりまして、年間に10名以内ではございますけれども、産業医と面談を重ねるということで、先ほども申しましたように令和4年度においては延べ23名の職員が産業医との面談をしているということでございます。

その上で、先ほども話しましたが、要は確かに部署間でかなりストレスを抱える部署も多くございますので、そのような部署につきましては特に所属長のほうに相談等をしっかり聞きながら、今後このような職員の心の健康問題にも気をつけるように周知をしているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 市役所は行政機関ですので、労働安全衛生法を遵守しなければいけないということになっているんですよ。それで、当然、衛生管理者を置いてないといけなかったわけですね。それがいないということは、見てください、これをちゃんと、法律を。置かないと

いけないはずです。それに、何回も読み上げますが、健康に異常のある職員の発見、職場環境の衛生チェック、衛生教育の健康相談、週1回の職場の巡視など多くにわたります。衛生管理者の業務ができていないので、次に私が申しますことが起こったわけです。だから、衛生管理者は置いてください。お願いいたします。どうですか。

○議長（初村 久藏君） 総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） 申し訳ありません、私の認識不足で、今確認しましたところ、衛生管理者、厳原庁舎と豊玉庁舎それぞれに1名配置をしております。

それと、この分については50名以上の職員が対象となりますので、それと併せて産業医をそれぞれ配置をさせていただいております。申し訳ございませんでした。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 私の知るところではですね、職員による痛ましいあつてはいけな
い事案が発生していますが、その職員が所属している問題だけではなく、今回の事案を市役所全
体の教訓として、二度とこんなことが起こらないように、しっかりとした原因究明と再発防止に
取り組む必要があると考えます。今回の事案が他人事ではなく、市長が中心となり管理職、同僚
職員も含め危機管理に励まれますよう求めます。そして、労災隠しは犯罪になりますので、その
ことを言っておきます。

以上です。

次に入ります。移動販売車についてです。

私はこのことを前から言っ
てまいりましたが、色々と聞いてみましたら、佐護から上対馬は
スーパーの御協力でなっているんですけど、皆さんに聞いてみましたら、移動販売車が来ている
ところはものすごく喜んでありました。そして、対馬市からの補助金が1日5,000円と聞き
ましたが本当ですか、お答えください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 今の質問の前に、先ほどの質問の中で、市があたかも労災隠しという
ような発言がございましたけども、このことは大変大きな問題になるところでございます。市と
いたしましても、このような労働災害を隠すとか、そういうことは決してあつてはいけないこと
でもありますし、そんな言葉をこのような神聖な議会の場で発言をされるということはあつては
ならないと思いますので、この発言については取消しをしていただきたいと思います。どうで
しょうか。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 労災隠しをしたということは言っておりません。労災隠しは犯罪
になりますよということを言っただけです、私は。労災隠しを市がしたということは言っており

ません、私は。何を言っているんですか。（発言する者あり）言っていないですよ。労災隠しは犯罪になりますよと言っただけで、市が犯罪を、労災を隠したということは言っておりませんよ。何を言っているんですか。その言い方は。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 先ほどの質問の中では、あたかも市が労災隠しをしているんじゃないかというような表現です。そのように私は捉えましたし、あくまで市としてはこれは本当に大変重要なことでございます。この表現については取り消していただきたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 私は取り下げません。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君、ちょっと待って。発言には十分注意して言ってください。

○議員（7番 入江 有紀君） いやいや発言には注意するって。したということは言っていないです。労災隠しは犯罪になるですよと言ったことだけです。

○議長（初村 久藏君） そういふふうに取りられるような発言はつつしむように。

○議員（7番 入江 有紀君） したとは言っていないじゃないですか。何を言っているんですか、議長も。そうじゃないですか。

○議長（初村 久藏君） いやいや、注意をして発言をしてくださいと。

○議員（7番 入江 有紀君） いいかげんにしてくださいよ。したとは言っておりません。労災隠しは犯罪になりますよということを言っただけです。私は市がしたとは言っておりません。

○議長（初村 久藏君） ほかに質問は。入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 5,000円ずつのをお聞きしたんですけど、変な答弁が返ってきましたので、もう一回言ってください。

○議長（初村 久藏君） 保健部長、桐谷和孝君。

○保健部長（桐谷 和孝君） お答えいたします。

先ほど市長が答弁の中でおっしゃった尾崎地区、賀谷地区のほうで2か所で実施している実証実験につきまして、議員がおっしゃったように1回につき5,000円の市からの謝礼を出しております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 下地区のほうがですね、尾崎と賀谷だけじゃなくて、全部回っていただくような方法はありませんか。やっぱりですね、買物をスーパーやなんかに頼んで配達してもらわないじゃなくて、自分で物を手に取って買えるということを、ものすごく喜んであるんです、皆さんが。そして、お年寄りの集まる場所、お話を、車が来るまでにみんなも集まってお話

をする場所にもなるし、お年寄りのためにも非常にいいことだと思うんです。それで、賀谷と尾崎だけじゃなくて、あとの地区も、店のない地区を回っていただくということはできないものでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 保健部長、桐谷和孝君。

○保健部長（桐谷 和孝君） お答えいたします。

先ほど市長の答弁と重複をいたしますが、地区によっては地元の商店もございます。地域住民の皆様の合意を得ながら、調整を現在進めておりまして、3か所目の検討を現在行っているところでございます。徐々に地域を広げていけたらと思っております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 地域を順に広げてと言いますけど、賀谷とお店のないところ、お店のない地区はどこということを調べてあるんですか。

○議長（初村 久藏君） 保健部長、桐谷和孝君。

○保健部長（桐谷 和孝君） 申し訳ございません、そこまで細かくは調べておりません。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 上のほうは、どうにかそのスーパーさんの御協力で、みんな喜んでいらっしゃるんですけど、下のほうが、まだ買物難民のためにはやっぱり来ていただいたほうがいいと思うので、お店がない地区を市のほうで調べて、またファミリーマートさんにでもお願いして、補助金を少しでも上げて、そして行っていただくような方法をやってもらいたんですけど、お願いします。

○議長（初村 久藏君） 答弁、要りますか。

○議員（7番 入江 有紀君） 要りません。

○議長（初村 久藏君） いいですか。7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 最後に、衛生管理者をぜひとも置いて、市職員のためにやってもらいたいと思います。そうせんと、こういう痛ましい事故が起こってからで遅かったんですけど、もうちょっと早く入れて。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君、衛生管理者を置いているということですけど。

○議員（7番 入江 有紀君） 置いていますか。

○議長（初村 久藏君） 今さっき説明がありました。

○議員（7番 入江 有紀君） そして、この業務をしていますか、私が言った業務……、そうです。そうしたらいいです。お願いしておきます。

以上です。早く終わりましたが、ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、入江有紀君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開を11時5分からといたします。

午前10時49分休憩

午前11時03分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 皆様、おはようございます。会派創政の糸瀬雅之でございます。

まず、令和6年1月1日に石川県能登地方を震源とした地震が発生をいたしました。お亡くなりになられた方々には、心からお悔やみを申し上げますとともに、被災されました方々にはお見舞いを申し上げます。被災地の皆様の安全と一日も早い復興・復旧をお祈りをいたします。

また、1月2日には羽田空港で日航ジャンボ機と能登地方に支援物資を届けるために向かおうとしておりました海上保安庁の小型飛行機の衝突事故もございました。お亡くなりになりました海上保安庁の5名の職員の皆様にも、心よりお悔やみを申し上げます。

さて、対馬市議会では、昨年12月1日に、私を含め13人の議員が対馬市政治倫理条例に違反するとの判断がなされました。見解の相違はございますが、市民の皆様、関係者の皆様には、御迷惑、御心配をおかけしたことは事実であり、この場をお借りいたしまして深くおわび申し上げます。今後は、市議会議員としての品位と職責を再確認をし、対馬市民の負託に応えるよう、議員活動に全力で取り組んでまいりたいと思います。

また、昨年9月の定例会の際に、議員定数調査特別委員会が設置をされ、これまでに3回の特別委員会が行われました。議員定数について対馬市民の意見を聞くために、昨年12月20日から今年1月19日までの1か月間で、議会事務局に200名近い市民の意見が寄せられております。結果、意見書の97%が3人以上の定数削減でございました。議員を減らしたほうがよいという意見の中で、議員に対して大変厳しい意見も多くございました。

特別委員会8人で構成をされておりますが、いまだに結論が出ておりませんが、6月定例会までには、私の選挙公約でも掲げました3人削減、市民の意見も3人削減を実現できますように、議員皆様には理解を求めていると思っております。

3人削減により、議員報酬や政務活動費など1年間で約1,650万円、4年間で約6,600万円の歳出削減となり、浮いたそのような財源を、市長のおっしゃいます島の宝である子どもたちのために少しでも財源に充てられればと思っております。

どうか議員皆様、1年先の自分の議員選挙のことは忘れて、まずは議員自らが身を切る改革を